

様式第六（第八条関係）

特定施設設置届出書

提出日を必ず入れてください。

年 月 日

鎌倉市長

申請者 〒247-0066

住所 鎌倉市山崎354番地2

電話番号 0467-46-8001

氏名又は名称及び法人にあ
つてはその代表者の氏名株式会社 山崎浄化センター
代表取締役社長 鎌倉 太郎

押印は不要

下水道法第12条の3第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	山崎浄化センター給油所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	鎌倉市山崎 354 番地2	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	71 自動式車両洗浄施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	※備考	
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設名称	門型洗車機	
特定施設番号及び名称	71 自動式車両洗浄施設	
型式	(株)〇〇製作所 AB-100C	
構造	鋼鉄及びステンレス材 めっき鋼材、塩化ビニル ポリエチレン 詳細については、図1のとおり	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>図1 設置する洗車機の構造、主要寸法がわかるものを添付してください。 説明書の写し、カタログなど。</p> </div>
主要寸法	図1のとおり	
能力	10台/時	
配置	図2のとおり	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>図2 洗車機の場所を明記した配置図 (⇒別紙、図2参照)</p> </div>
設置年月日	年月日	
工事着手予定年月日	令和 3年 4月 1日	
工事完成予定年月日	令和 3年 4月 1日	
使用開始予定年月日	令和 3年 4月 2日	
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設名称	門型洗車機				
特定施設号番号及び名称	71 自動式車両洗淨施設				
設置場所	図2のとおり		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>もしくは、図3のとおり。 洗車機が行う作業工程がわかるものを添付してください。 (⇒別紙、図3参照)</p> </div>		
作業の系統	洗剤塗布→洗淨→ワックス塗布→洗淨→乾燥				
使用時間間隔	6分/台、1日15台				
1日当たりの使用時間	90分				
使用の季節的変動	なし				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	ABC シャンプー 750ml(50ml/台) EFG ワックス 375ml(25ml/台) 詳細については、安全データシートのとおり。		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>洗剤、ワックスの製品安全データシートまたは説明書を添付してください。</p> </div>		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水温(°C)	8~25	8~25		
	pH	7.0	8.6		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
その他参考となるべき事項	油水分離槽 No.1 へ接続				
		1.5	2.0		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

図2
油水分離槽の場所を明記した配置図
(⇒別紙、図2参照)

工場又は事業場における施設名称		油水分離槽 No.1				油水分離槽 No.2			
処理施設の設置場所		図2のとおり				図2のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		令和 3年 4月 1日				令和 3年 4月 1日			
工事完成予定年月日		令和 3年 4月 1日				令和 3年 4月 1日			
使用開始予定年月日		令和 3年 4月 2日				令和 3年 4月 2日			
種類及び型式		4槽式				4槽式			
構造		図4のとおり				図4のとおり			
主要寸法		図4のとおり				図4のとおり			
能力		1.6~1.8m ³ /日				1.6~1.8m ³ /日			
処理の方式		浮上分離吸着				浮上分離吸着			
処理の系統		図3のとおり				図3のとおり			
集水及び導水の方法		図2のとおり				図2のとおり			
使用時間間隔		0:00~24:00				8:00~21:00			
1日当たりの使用時間		時間内連続				時間内連続			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		油吸着マット 月1回交換				油吸着マット 月1回交換			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水温(°C)	8~25	8~25	8~25	8~25	8~25	8~25	8~25	8~25
	pH	7.0	7.0	8.6	8.6	7.0	7.0	8.6	8.6
	ルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)(mg/L)	3	2	6	3	3	2	5	3
量(m ³ /日)	1.5	1.5	2.0	2.0	0.8	0.8	1.0	1.0	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		油吸着材 100Kg/月 産業廃棄物として委託処分				油吸着材 100Kg/月 産業廃棄物として委託処分			
排出水の排出方法		排出口1へ				排出口2へ			
その他参考となるべき事項									

図4
油水分離槽の構造、主要寸法がわかるもの。説明書の写し、カタログなど。

図3
(⇒別紙、図3参照)

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排出水の排水方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

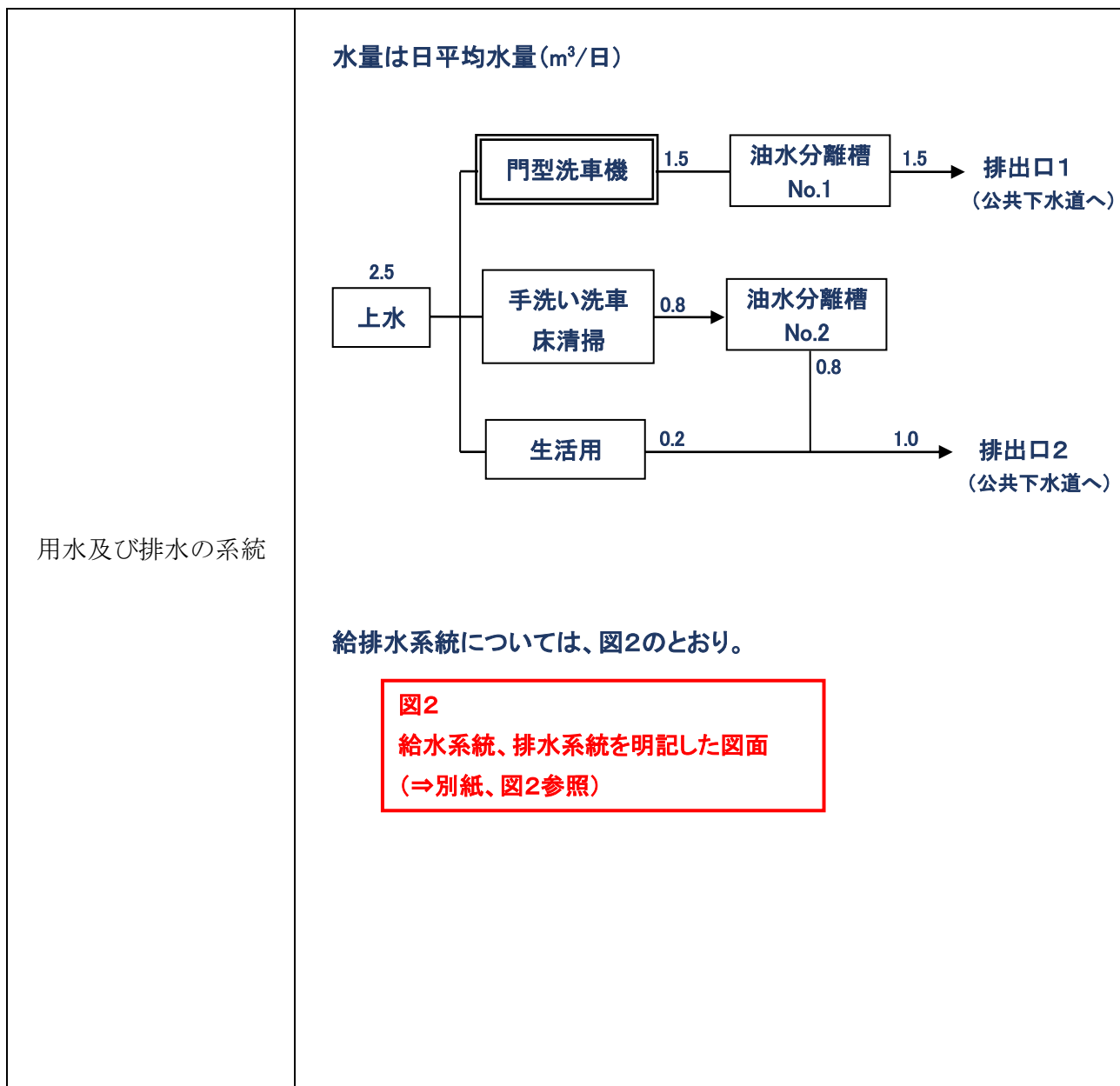
排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設名称		排出口1		排出口2	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	水温(°C)	8~25	8~25	8~25	8~25
	pH	7.0	8.6	7.0	8.6
	ルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)(mg/L)	2	3	2	3
排出水の量(m ³ /日)		通常 1.5	最大 2.0	通常 1.0	最大 1.2
その他参考となるべき事項				<p>生活排水を含む。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>生活排水 給湯室、トイレ、手洗い等に使用する水</p> </div>	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙5はありません

用 水 及 び 排 水 の 系 統



用水及び排水の系統

	用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)
用 途 別 用水使用量	洗淨用水	上水	2.3
	生活用水	上水	0.2
	合計	上水	2.5

参 考 資 料

- 1 工場又は事業場周辺の見取図

図5のとおり

図5 事業場の場所までの案内図

- 2 工場又は事業場における建築物、施設などの配置図

敷地内に複数の建物がある場合は、配置図を添付してください。ない場合は空欄。

- 3 工場又は事業場全体の操業の系統

図3のとおり

図3 (⇒別紙、図3参照)

- 4 工場又は事業場全体の特定施設の種類及び数
(設置又は変更後の種類及び数を記入すること。)

号 番 号	名 称	数
71	自動式車両洗淨施設	1

- 5 主要製品名及びその主原料

主 要 製 品 名	主原料及びその使用量（1日当たり）

- 6 その他工場又は事業場についての参考事項

事業場の従業員数

敷 地 面 積	100 m ²	常時使用する従業員数	5 人
建物の延べ面積	40 m ²	操 業 時 間	9時～19時
資本の額又は出資の総額	〇〇 万円	用 途 地 域	住居専用地域

営業時間